

## ■第 2 回 氷見市景観形成重点地区指定検討委員会のご意見とその対応

### ○議事：第 1 回検討委員会のご意見とその対応

項目	ご意見、ご指摘	対応
シンボルロード整備構想／沿道や住民への取り組み周知	○最終的には民間の皆様にもリターンがあるということも含めて、景観をきれいにすることのメリットを伝える等の働きかけは、今回の検討においても非常に重要な部分として認識しておきたい。	・資料 2 に景観まちづくりの目的と意義について掲載しています。
	○国道 415 号沿道の住民に対して、市役所の職員が地域に赴いて、重点的に説明をして意見を伺いながら、景観の重要性も含めて認識していただくことが重要。地元町内会、自治会を活用して浸透させていくことも必要ではないか。	・資料 3 に令和 5 年度の地域の方への周知・共有方法について案を掲載しています。
	○地域の課題や今後取り組んでいくべきことを検討しているところだが、その先に地域と行政のあるべき協働の姿が出てくるということが大事。	・令和 5 年度、実現方策にて詳細に検討します。

### ○議事：景観まちづくり実証実験【Himi Sweet Sunday】について

項目	ご意見、ご指摘	対応
今後の実証実験等について	○人出に応じた企画内容は検討する必要があるのではないか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和 5 年度も引き続き、実証実験等の実践を通じて、計画策定後の地域活動や景観のマネジメントにつなげていきたいと考えています。</li> <li>・資料 3 に令和 5 年度の実証実験等について現時点でのイメージを掲載しています。</li> </ul>
	○民間が実施しているマルシェではなく実証実験であるので、出店者などに対して、市がサポートする部分もあっても良いのではないか。	
	○今回集まっていたいただいた方をグループ化して、場所や企画を決めていただき、今回の会場以外の場所へも点在させながら輪を広げていくような取り組みも大切である。	

	<p>○平日に子どもや子連れが楽しめる企画やイベントがあれば、歩いてくれるきっかけになるのではないかと。</p> <p>○今回の氷見市における実証実験は、景観の文脈で行っているものであり、空き地や公共空間の活用がより良い景観づくりにつながっていき、それがまちにつながっていくということの一端を体験できたということも大きな成果である。</p>	
--	--	--

○議事：検討地区で目指す景観形成の方向性（案）について

項目	ご意見、ご指摘	対応
今後の景観形成の方向性について	<p>○第9次総合計画の目指すべき将来像に「文化」という言葉がある。大伴家持の万葉歌碑、藤子不二雄<sup>Ⓐ</sup>氏のモニュメント等、氷見独特のこれで勝負できるというものを象徴的にアピールすることも必要ではないか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料2ー参考資料①に歴史や文化についての資料を掲載しています。</li> </ul>
	<p>○重点地区指定により事業が何らか動くことと景観づくりに向けて機運が高まるのではないかと。実証実験の企画チームから発展して沿道に小さな店舗や取り組みが展開していくと歩きたくなるようになるか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>拠点施設の間にある空き地や空き店舗の活用についても景観の検討の中で方向性を検討していきます。</li> </ul>
	<p>○もっと若い方の意向や希望をどうやって実現できるのか、若い方の意見をできるだけ早い段階で取り入れてほしい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度に氷見高校と連携した取り組みを検討します。</li> <li>資料3に令和5年度の実証実験等について現時点でのイメージを掲載しています。</li> </ul>
景観形成重点地区の区域について	<p>○点と点をつなげていくお話があったが、検討する範囲を広げていくことが可能なか。そこを明確にしておかないと深まっていけないのではないかと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度に重点地区の区域の詳細な検討を行います。</li> <li>番屋や中心市街地、湊川など周辺への展開については、国道415号沿道の検討を進める中で考え方を整理します。</li> </ul>
	<p>○今後の沿道の景観づくりを考える上で、周辺の資源や施設とのネットワークや人の動きも大事であるということであるので、ビジョンやテーマについては、沿道だけではなく、周辺も含めて共有していくということが大事。</p>	

<p>実現の仕組みづくりについて</p>	<p>○重点地区が指定された場合にどう運営するかが大事。地域との協働、小規模多機能な場所をつくっていく時代になってくる。つくって守り育てることを視野に入れた仕組みづくりも大事である。</p>	<p>・令和5年度、実現方策にて詳細に検討します。</p>
	<p>○誰かにやってもらうものではなく市民が作り上げていかなければいけないものであり、今後市民で続けていける仕組みづくりを必ず考えていくことが大事。</p>	